

# 内部統制上の不備に関する判断指針

会 社 名	_____	管理番号	_____
決 算 日	_____	承認者/承認日	_____
		作成者/作成日	_____

## 内部統制上の不備の分類①

内部統制上の状況による不備の分類は下記に定めるとおりとする。

### 【整備状況の不備】

内部統制が存在しない、又は規定されている内部統制では内部統制の目的を十分に果たすことができない等の内部統制の整備上の不備をいう。

### 【運用状況の不備】

整備段階で意図したように内部統制が運用されていない、又は運用上の誤りが多い、あるいは内部統制を実施するものが統制内容や目的を正しく理解していない等の内部統制の運用上の不備をいう。

## 内部統制上の不備の分類②

内部統制上の本質的な不備の分類は下記に定めるとおりとする。

### 【形式的な不備】

意図された内部統制は機能していたものの、証拠が残っていないなど形式的な内部統制の不備をいう。

### 【実質的な不備】

内部統制が存在していない、意図された内部統制が機能していないなど、実施的に内部統制が機能していない場合の内部統制の不備をいう。

## 内部統制上の不備の判断指針

内部統制上の不備の判断は、実質的に内部統制が機能しているか否かによって判断を行う。すなわち、形式的な不備がある場合においては、実質的に統制が機能していたか否かの判断を行う。

	形式的な不備	実質的な不備
整備状況の不備	* 1	* 2
運用状況の不備	* 1	* 2

\* 1 形式的な不備であり、内部統制上の不備とは扱わないものの、形式的な不備の改善指導を実施する。

\* 2 実質的な不備であり、内部統制上の不備として取り扱う。

# 内部統制上の不備に関する判断指針

## 内部統制上の不備の留意点

内部統制の不備は単独で、又は複数合わさって、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準及び財務報告を規制する法令に準拠して取引を記録、処理及び報告することを阻害し、結果として重要な欠陥となる可能性があることに留意する。

以 上